



週)報

2012~2013年度))) R I会長)田)中)作)次)
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)
))))))))))第 2570 地区ガバナー)鈴)木)秀)憲)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司))副会長)山室博美))幹事)稲見)淳

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 916 回(10 月 2 日)例会の記録

点 鐘 若松泰誼会長
合 唱 国歌斉唱、奉仕の理想
第 2 副 S A A 高田君、田中君

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
30 名	28 名	92.86%	100%

会長の時間

若松会長

「原子力技術者の流出深刻」
サブテーマ：日本の虎の子がまた海外へ

今回は、別の観点から原子力の話をしていただきます。

今、日本がすべての原発を止め、日本列島から原発を全廃すれば原発のリスクを回避できると思っている人がいるとすれば、かなり能天気としかいいようがないと思います。

中国のオールドス高原で舞い上がった黄砂が日本各地に及び、時に空港閉鎖もあったように、中国の原発が事故を起こせば、その影響は当然日本に到着します。・・・想像できますね。

原発の話に戻りますが、去る 6 月 21 日に懸案だったリトアニアにおける総額 4 千億円に達する原子力発電所建設受注に日立が成功しました。最近では皆さんもご存じの様に日立、三菱重工、東芝の日本連合はベトナムの 2 基も受注しています。

今の日本ではメディアを先頭に国民世論は「脱原発」一色であります。

一方、日本は原子力発電の新規運転、保守、管理のノウハウを蓄積して来た数少ない国であります。

原子力発電所の企画、設計、施工から完成後の運転、保守点検までを一貫して行うことが出来る



のは、東芝、日立、三菱重工という日本の企業だけであります。

しかし、状況はにわかには変わろうとしています。福島第一原発事故ではない「さらに深刻」とも言える危機が日本に迫っています。

それは、原発の運転ノウハウを持つ技術者の海外流出であります。

原発輸出の強力なライバルとなる韓国、中国、そして豊富なオイルマネーを元手に原発を初導入するアブダビの原発関連企業が破格の年棒を提示して東京電力の技術者を引き抜きに動いています。

提示価格は 5 千万～6 千万」だそうで、既に複数の技術者獲得に成功しているそうです。

世界の原発の主流であります加圧水型軽水炉(PWR)と沸騰型軽水炉(BWR)の両方の技術を持ち、両方の運転ノウハウをもっているのも日本だけあります。いくら日本が世界最高の安全運転ノウハウを自負しても技術者自体を引き抜かれてしまえば、原発の運転、保守、管理のノウハウはいとも簡単に流出してしまいます。

原子力発電は压力容器、発電機、タービン初め高度精密技術の集積ですが、いずれの分野でも世界を席巻しているのは日本の企業であります。これら技術を駆使し、稼働のノウハウを蓄積して来たのが東京電力をはじめとした電力会社の技術者であります。

世界では 2030 年までに 200 基を超える原子力発電所の建設が見込まれており、原発ビジネスの市場規模は今後 20 年間で 120 兆円を超えると推定されています。

そればかりではありません。日本国内においても 2012 年度以降に稼働開始から 40 年を過ぎ、老朽化した原子炉の廃炉が待ち受けています。

この廃炉作業を担う専門技術者の確保は将来の世代への義務でもあります。

また、原子力の専門家たちは今回の事故の教訓を徹底的に生かし、専門家の権威と信用に掛けて原子力発電において安全の確保が十分に可能であると明言して欲しいものです。

その頃から私と兄の性格はだんだんと明るくなっていきました。今考えてみると、夢について考えるようになったのが、中学生の頃からだったのではないかと思います。それ以前には普通の生活ができなかったのも、夢を考える余裕がなかったのだと思います。

高校生になってからは、私は将来何になるかと考えておりました。当時決めたのは、旅行会社に入社してさまざまな国を旅行することでした。そしてその夢を叶えるために日本語の勉強を始め、韓国のヨシジン専門学校の観光学科に入りました。専門学校の1年が終わった時、私は軍隊に入隊することになりました。韓国の兵役は全ての身体健康な男性であれば皆に義務付けられているため、行ってこななければならないものです。それで軍隊の生活が始まり、命を懸けて銃を撃ったり、爆弾を投げたりする訓練、仮想戦争訓練など、厳しい訓練をたくさん受けました。軍隊での2年間が終わった時点で、私に根気と根性が身に付いていたことは本当に良かったと思いました。

軍隊での2年間の生活が終わって、社会に戻り、専門学校に2年生として復学するための準備をしておりました。ところがある日、日本東京インターコンチネンタルホテルで韓国人インターンシップ社員を募集することを知りました。ちょうどその時日本語を勉強していたところだったので、私は「よし、やってみよう」という気持ちで志願書を出し、面接を受けました。その結果「合格」。このことをきっかけとして、2007年5月に日本に初めて留学することになりました。

日本に来て驚いたことがいくつかあります。一つは日本に韓国人留学生が本当に多かったことです。韓国人はあまりいないと思って来た東京でしたが、新大久保駅の周りにはまさに「コリアタウン」とも言えるぐらいの、たくさんの韓国人が住んでおりました。そして二番目に驚いたことは、日本人の国民性でした。

東京港区にある、東京インターコンチネンタルホテルでインターンシップとして働いていたときに、F&Bパートに所属され、アジアンレストランに配属されていましたが、そのレストランには本当に厳しい若い男性キャプテンが一人いました。勤務当初から厳しくたくさん言われ、仕事を続けていきましたが、そのキャプテンの厳しさはずっと続いておりました。晩御飯を食べずに夕方の仕事をしていたある日は、本当にお腹が空いて、お客さんが食べ残した料理を誰も見ていないときに少し食べてしまいました。しかしちょうどその時そのキャプテンに見つかり、すごく怒られたこともあります。それ以降も厳しいキャプテンとの仕事はずっと続き、私が働いて6ヶ月位になったある日、いつも通りにキャプテンと私は一緒に仕事をしておりましたが、キャプテンが私を呼び出しました。呼び出されたところへ行ってみると、美味しい料理が置いてありました。キャプテンは静

かな声で私に「ゆっくり食べて仕事に戻りなさい」と言い、その場を離れました。私はその時「本当にこれを食べて良いのか、何か間違いでもしたのか」と考えましたが、まずは食べることにしました。しかしそのような日は続き、それ以降も頻繁に私は呼ばれ、ご馳走を頂きました。それで私は、キャプテンがなぜこんなに以前とは違う行動をとるのだらうと、じっくり考えるようになりました。考えてみればその理由がわかるようになりました。それは「私の成長」でした。私が何も知らないときには、緊張してしっかり仕事が学べるように、厳しく接してくれていたのです。しかし仕事を始めて6ヶ月経ち、仕事ができるようになった時点から、キャプテンはやさしく接してくれたのです。

このことを通して知ることができたのは、日本人の国民性でした。自分に任された仕事に関しては徹底的に成し遂げるという気持ちで取り組むこと、自分の仕事にプライドを持って取り組むことがそれです。もちろん日本人の全ての人がそうだというわけではありませんが、それ以降の日本の留学生活を通して、そのような人が多いということが分りました。東京インターコンチネンタルホテルでは1年近く働き、辞めることになりましたが、そのとき身に付けた日本語と様々なことは一生の財産となると思います。

私がホテルを辞めた理由は、もっと勉強をしたかったからです。ホテルで地位の高いお客さんとたくさん会って話す中で、「私もあのような人になりたい」という考えがでてきました。そしてたくさん考えた結果、仕事を辞めて大学進学への準備をすることに致しました。準備は簡単ではありませんでした。日本語の実力がある程度ついたと思っていたのは、私の錯覚でした。大学受験に必要とされる日本語はもっと難しかったのです。一生懸命に大学受験の準備をしましたが、2009年度入学試験では全ての大学に落ちました。そのときには本当に諦めたい気持ちで一杯でしたが、先輩の激励と周りの友人達の励ましで、もう一年準備を試みることにしました。

日本語学校に1年間入り、大学入試を新しい気持ちで準備するようになりました。バイト（新聞配達）と勉強を両立することは難しかったのですが、諦めずに進み、2010年度の入試で西武文理大学に入学し、現在に至ります。日本政府から与えられる日本学生奨励会の奨学金を1,2年生の間は頂き、バイトの時間を減らし、日本での生活、また学業に集中することができました。本当に有り難いと思っております。

日本での生活の全てを皆さんに伝えることはできませんが、周りの多くの人々の助けや手伝いにより、日本での6年間の留学生活が可能になりました。私が今所属している、米山記念奨学会の皆様、そして狭山中央ロータリーの皆様もその大切な方々です。皆様の助けや手伝いを感謝の気持ちで頂いて、将来には世界の貧しい子供達のために

奉仕し、その人達が夢を持って生きていくことができるように働きたいと思っております。

奉仕は奉仕を生み出し、今年のロータリークラブのテーマ「奉仕を通じて平和を」とは、本当にその通りであると思います。私も皆様のように、奉仕をする人生を生きていくために、これからも頑張っていきたいと思っております。

【A&Q】

何年位日本にいるのか？

日本にずっといながら、起業したいと思っております。実は私は中学の時に、貧しかったため韓国デグのロータリークラブから1万円位の奨学金をもらったことがあり、そのときロータリークラブの存在を初めて知りました。そして今回日本のロータリークラブの皆様と会い、ロータリーとは多くの人が集まっているのではなく、専門的な分野のトップの方が集まっているということになりました。私も、私の専攻している経営学を活かして事業を興し、皆様のようにその分野でのトップになり、奉仕活動をしたいと思っております。

私の考えですが、今韓国は日本よりもチャンスが少ない国であると思います。日本は本当に実力社会であると思いますし、頑張る人、実力のある人は育つ可能性が十分にあると思いますが、韓国は血縁等、実力社会ではないということが現実です。そのため、日本で私の夢を叶えたいと思っております。日本での生活を通して、自分の事業を考えております。

今3年生で、企業研究を始めたところですが、具体的に決めることは出来なかったのですが、経営と所有の分離ということで、所有者が経営するのではなく、所有者は所有のみで、経営は任せるシステムだということがわかりました。ですから、私が直接資本金を出し経営するのではなく、中小企業に入社し、その企業が大手会社になるように私の全力を發揮し、最終的にそこで経営者になりたいと思っております。企業はこれから調べていくところです。

地区米山学友委員)))))))) 宮野会員)

毎年9月に米山の学生と地区役員とで米山梅吉記念館に行き、お墓参りをし、その後1泊しております。今日配られましたガバナー月信の5頁にその時の写真が載っております。



今年は22名中15名が参加致しました。

私も米山の地区役員になり非常に驚いたのですが、キム君が現在27歳だと思っておりますが、27歳の米山の学生さんは非常に若いです。ここに写って

いる学生の中で24~25歳の人は恐らく2~3人しかおりません。皆20歳代後半から30歳代、先日話した学生さんは37歳でした。

日本での学生の感覚は、18歳で大学に入り22歳まで、大学院に行ったとしても24歳、だいたい25歳以下の方というものですが、他の国では、例えば韓国は徴兵の制度があったりとその国々によって違いますが、ほとんど20歳代後半から30歳代の方が米山の学生としていらっやっています。

勉強するのに年齢は関係ない、逆に言うとその位まで色々な経験をして大学に戻り、また大学を卒業して実際企業に入るときには即戦力という形ではないと、外国では就職できないというのが現実のようで、皆さん良く勉強をしております。しかもこの15名の中の3名が既に結婚をしております。奥様と一緒に日本に来ており、その中にはお子さんが生まれた方もいます。

色々なことを教わるのですが、今回一番驚いたのは、インドの方ですが、彼は結婚をしており、彼の結婚の話聞いた中国の女子学生が私に、「日本では結婚相手は誰が決めるのですか？」と質問してきました。私は、「色々な方法があるけれども、最終的に決めるのは本人だ」と答えますと、彼女の地方は中国でも本人が決めるものではなく、またこのインドの学生も、結婚するまで自分のお嫁さんを一度も見たことがないと話しておりました。

ここに行く色々な文化に出会えてとても楽しく、私たちの知らないことが沢山あるということがわかります。そして今中国や韓国と領土のことで色々問題になっていますが、この件に関しては米山の地区役員から、政治のことだから触れるなどと言われておりますが、確かに色々な問題がありますが、時々インターネットで色々なサイトをみてみますと、確かにそうした方々もおりますが、それぞれのtwitterやLINE、Facebookの中では、日本人は悪くない、このようなデモはしてはいけないという中国、韓国の方の書き込みも沢山あります。すぐ消されてしまっているというのも現実なのですが、少なくとも全員が全員、このような問題で日本人に対して敵対心を持っているわけではなく、そうではない人も沢山いるということは非常に大切で、私たちがこうして米山の学生さん達と交流を続けることで、そういう方が一人でも増えてくれることを楽しみに、頑張っていければ良いと思っております。



- 半田 武様(飯能RC) 本日はお世話になります。
- 若松君 金強重君、卓話よろしくお願ひします。楽しみにしています。
- 稲見君 米山奨学生の金強重君、今日のお話楽しみです。
- 東 君 先日、第3グループ「フレッシュマン研修セミナー」を受講させて頂きました。講師の方々の 貴重なお話や、会員の方たちと交流を持てたので、大変有意義で勉強になりました。
- 江原君 米山奨学生・金強重君、本日の卓話楽しみにしておりました。よろしくお願ひ致します。
- 古谷君 本日、早退致します。
- 浜野君 早退させて頂きます。
- 竇積君 金君、卓話楽しみにしていますよ。
- 中谷君 金強重君、今日は卓話ご苦労様です。楽しみにしていました。
- 小幡君 狭山リトルシニア創立 13 年目にして初めて北関東大会でベスト3位となり、10月中旬からの関東大会への出場権を得ました。皆様のご支援ありがとうございます。
- 会員誕生祝 高田君
夫人誕生祝 野口(留)君
結婚記念日 宮野君 守屋君 若松君

親睦活動委員会よりお知らせです

家族同伴親睦旅行 〔 東北の旅 〕

11月20日(火)~21日(水)の一泊二日

職業奉仕との合同事業として、先の東日本大震災で被災された宮城県女川町の視察、蒲鉾本舗「高政」の工場見学、日本三景松嶋等々被災後の様子を視察いたします。

また、世界遺産に登録された、平泉中尊寺の見学・参拝も予定しております。

会員・ご家族、皆様の多数参加をよろしくお願ひ致します。

次の例会

第2副SAA 東君 古谷君

10月16日(火) 12:30~13:30

会員卓話 「消費税について」 吉松孝吉会員

イニシエーション・スピーチ 東 雅彦会員

